



自律貢献



新年、明けましておめでとうございます！

今年もよろしくお祈りします。昨年は、新型コロナウイルスの影響で、大きく世界の状況が変わり始める年となりました。変化の激しい社会が到来すると言われてきましたが、これまでの答えが通用しない、「今まで通り」は何一つない、まさに激動の年でした。その中で、向丘中学校の生徒のみなさんは様々なことに挑戦し、新しい価値を創造し、その姿で先生たちに進むべき方向性を示してくれたと思っています。

●授業改善で生徒は本当に変わる

昨年の夏頃は、授業中に寝ている生徒の姿をたくさん見かけました。先生たちは何とかしなければと、授業を工夫し、お互いの授業を見合っ授業改善に取り組んできました。その結果、特に、3年生では92%の先生方が「授業中の居眠りみかけなくなったね」と、みなさんの姿に自信を持つことができ、さらに深い学びへと意欲を持つことができました。

●行事での体験は本当に生徒を成長させる

昨年、運動会や文化祭、チャレンジウィークや中体連の大会などが例年通りに実施できず、先生たちもどうしたらいいか不安な日々でした。しかし、3年生が中心となって運動会を企画してくれたり、2年生がチャレンジウィークの代わりに地域への貢献活動を企画したりしました。今まで「教師がやらせていた」活動より、「生徒が起点となる」活動の方が、より価値のある体験となり、大きく成長することを確信できる年でした。

●生徒との信頼関係が大切である

「生徒の居眠りがどうして減ったのだろう？」と先生たちで考えていたら、授業改善だけでなく、「生徒を信頼しているからだ」と答える先生がいました。生徒を信頼することは当たり前のように、簡単なことではないと校長先生はこれまでの実体験から思います。しかし、そう言い切る先生方を見て、向丘中学校の先生方は、生徒のおかげで幸せな教員人生を歩ませてもらっているなと思いました。もちろん、まだまだ課題も多いのは事実ですが、進むべき方向性を示してもらったと思っています。

「生徒の才能と情熱を解き放つ！」1on1をはじめます！

1on1とは、GAFAを中心にアメリカ、シリコンバレーの企業が社員の育成を目的として行っているコミュニケーションプログラムです。厳しい現実社会で企業が生き残るためには、決まったことだけやる、言われたことだけしかできない社員集団では生き残れません。自ら課題を発見し、解決策をみんなで考え、実践できる自立した人材への成長が強く求められています。その成長のために1対1の対話を通して信頼関係を構築し、お互いを理解しながら成長の支援を行うのが1on1です。

昨年の経験から、先生たちもみなさんとの信頼関係の重要性を実感したので、本校でも実施したいと考えています。月1回程度のサイクルで定期的に行います。みなさんから先生に話をしてください。先生は真剣に聞きたいと思います。学校生活のこと、悩みや不安、今チャレンジしていること、何でもいいので、テーマはあなた自身が自由に決めて、話してみてください。あくまでも生徒が主役のミーティングですので怒られたりしません。安心して先生と向き合ってみてください。

みなさん一人一人の話をしっかり聞いて、みなさんのことをもっと理解して、「生徒を信頼している」と胸を張って言える先生になりたいと思っています。そして君たちの成長を楽しみにしていますよ。

1on1 meeting

- ・最近の学びや生活での成功や失敗
- ・気になっていること 悩み
- ・チャレンジしていること etc

- ・話を聞く 質問する
- ・(どうしても必要なら)教える
- ・アクションを決める サポート etc



生徒（話し手・主役）

話す 振り返る 考える



先生(聞き手・サポート役)

話を聞く 質問する